

2018 年度ゴンドワナ地質環境研究所（GIGE）事業報告

2018 年度の ゴンドワナ地質環境研究所 本部が実施した事業は以下の通りである。

<主な事業>

1. 学生のヒマラヤ野外実習プログラム関連事業

- ① 第7回実習ツアー（SHET-7） の準備（1 月～2 月）
- ② SHET-7 の実施（3 月）

参加者は日本各地の 6 大学の学生 10 人と一般一人及びネパール学生 4 人の合計 15 人であった。ネパール学生 2 人は IAGR の、2 人は SHET-7 の参加費補助による参加である。実習ツアーコースは例年と同じカトマンズーポカラムクチナートールンビニーカトマンズを 10 日間でバスとジープにより走破した。ツアーは全般的に好天で見事な展望に恵まれ、支障なく実施された。



- ③ SHET-7 の報告（3 月～5 月）
実施報告 は GIGE ホームページ公開（3 月）のほか、日本地質学会 NEWS（4 月）等で公表された。総合報告書「ヒマラヤ造山帯大横断 2018」（フィールドサイエンス出版発行 PDF 版 189 頁）が 5 月に発行された。
- ④ SHET-8 の広告・参加者募集、ツアープログラムの作成と準備（5 月～12 月）
インターネット、日本地質学会 NEWS、地団研そくほうなどによる SHET 情報の公表、国内外の 4 学会における SHET 関連の発表・広告と参加者募集を行った。5 月から 12 月にかけて参加希望者 20 人前後があり、12 月末までに中国北西大学を含む 10 大学 1 高校の学生 16 人、一般 2 人が参加登録を行った。他にネパールトリブバン大学生 2 名が参加予定となっている。参加登録者への諸注意送付、ネパールトレッキング社との調整などが 8 月から 12 月にかけて行われた。

2. 論文の執筆・投稿・公表

- ① 「Early Paleozoic Zircon Ages of the Higher Himalayan Gneisses of the Everest Region and

Their Pan-African/Proto-Himalayan Orogenic Signature」(M. Yoshida, G. Gehrels, B.N. Upreti, S.M. Rai) の投稿 (4 月、ネパール地質学会誌)。

- ② [「やまと隕石初発見 50 年目の会話と考察—初発見当時の状況と南極隕石大量収集への道程」の投稿](#) (6 月、地学教育と科学運動誌)、11 月号に掲載された。
- ③ [「青少年の登山と自然科学—北大山岳部 OB 達の地球科学関連活動の例」](#) (吉田勝・渡辺興亜共著) の投稿 ((7 月、地学教育と科学運動誌)、2019 年号に掲載予定。
- ④ 「北大山岳部と地球科学—登山活動は地球科学の進歩に貢献する」(吉田・渡辺) の投稿 (7 月、北大関西同窓会誌 Be Ambitious)、前編は 9 月号に掲載され、後編は次号に掲載予定。本報告は③をベースに多くのデータを加えて一般向けに編集した。
- ⑤ [「日本の現存氷河—氷体を持つ多年性雪渓についての考察」](#) の投稿 (11 月、日本地質学会誌)。本報告は 9 月のカクネ里氷河見学・勉強会を契機に執筆された。

3. 学会における研究発表

学生のヒマラヤ野外実習プログラム関連の報告など 5 題を地学団体研究会 (8 月、東京)、日本地質学会 (9 月、札幌)、国際 Gondwana 研究連合 (IAGR, 9 月に西安) 及び極域科学シンポジウム (12 月、立川) で発表した。SHE T 関連の報告では、上記シンポジウムでの情宣と、SHE T-8 参加者募集への効果が期待された。

<その他の事業等>

5 月に第 10 次日本南極観測隊晴実出航 50 周年記念総会が名古屋で実施され、公園となっている南極観測船ふじをおとずれ、そこでのやまと隕石初発見関連の展示を前に成瀬廉二、上田豊らほかと当時の思い出や議論があった(上記 2-②)。6 月にはパタゴニア氷河探検 50 周年記念集会 (東京)、8 月には [SHE T 参加者交歓会](#) が白馬村であり、総勢 12 人が集まり、大いに楽しみ、来年も実施することになった。9 月には [カクネ里氷河見学・勉強会](#) (白馬村) の講師を吉田が務めた。11 月にはラージボール卓球全国大会が郡山であり、吉田が来年の SHE T-8 のトレーニングを兼ねて(?) 出場した。80 歳台の予選リーグ全勝で勝ち上がったが決勝トーナメント 1 回戦で惜敗した!

<お知らせ>

来年 3 月に Yahoo Geocities が閉鎖されるので、GIGE ホームページの来年 3 月以降の持ち方を検討することになった。

2018 年 12 月 27 日

吉田 勝

Gondwana 地質環境研究所 (GIGE)

www.geocities.jp/gondwanainst/

648-0091 和歌山県橋本市柱本 147-2

E-mail: gondwana@oregano.ocn.ne.jp

Tel & Fax: 0736-36-7789



砕氷船ふじの甲板で (5 月、名古屋港)



SHE T 交歓会 (8 月、白馬)



地質学会で SHE T ポスター展示に集まった
SHE T 同窓メンバー (9 月、札幌)